

## 5.5 地形及び地質

学術上又は希少性の観点から選定される重要な地形及び地質を対象とし、ダム完成後の影響について、調査、予測及び評価を行いました。

### 5.5.1 調査手法

調査手法は表 5.5-1、重要な地形及び地質の選定基準は表 5.5-2、調査地域における地形分類図は図 5.5-1 に、表層地質図は図 5.5-2 に示すとおりです。

表 5.5-1 地形及び地質の調査手法

調査すべき情報	調査手法	調査地域	調査内容
地形及び地質の状況	文献調査	事業実施区域及びその周辺	文献その他の資料による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析により、地形及び地質の分布状況を確認しました。
重要な地形及び地質の分布、状態及び特性	文献調査	事業実施区域及びその周辺	文献調査から、表 5.5-2 の基準に基づいて重要な地形及び地質を選定しました。

表 5.5-2 重要な地形及び地質の選定基準

重要な地形・地質の選定基準
a. 「文化財保護法（昭和 25 年 5 月）」に基づき指定された天然記念物及び名勝 b. 「三重県文化財保護条例（昭和 32 年 12 月）」に基づき指定された天然記念物 c. 「世界文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（平成 4 年 9 月）」の登録基準に該当する地形及び地質 d. 「自然環境保全法（昭和 47 年 6 月）（自然環境保全地域）」の指定基準に該当する地形及び地質 e. 「日本の地形レッドデータブック第 1 集（日本の地形レッドデータブック作成委員会、平成 6 年）」に記載されている地形及び地質

### 5.5.2 調査結果

地形及び地質の状況の調査結果は、表 5.5-3 に示すとおりです。

調査の結果、事業実施区域及びその周辺において重要な地形及び地質は確認されませんでした。

表 5.5-3 地形及び地質の状況の調査結果

調査項目	調査結果
地形の状況 (図 5.5-1 参照)	調査対象地域は、尼ヶ岳（標高 958m）等を擁する室生山地及び髷ヶ岳（標高 779m）等を擁する布引山地と、上野盆地の間に広がる斜面に位置します。 前深瀬川は、尼ヶ岳付近にその源を発し、山間部を北流して、伊賀市川上地先で布引峠に源を発する川上川を合わせ、ここで流路を北西に変えた後、伊賀市青山羽根地先で木津川に合流しています。 建設発生土受入地周辺では、中位段丘が広がっているのに対し、ダム建設予定地周辺では、丘陵斜面が広がっています。
地質の状況 (図 5.5-2 参照)	建設発生土受入地周辺には、片状花崗閃緑岩及び花崗岩が広がっており、ダム建設予定地周辺には花崗岩が広がっています。

### 5.5.3 予測結果

調査の結果、事業実施区域及びその周辺において重要な地形及び地質が確認されなかったことから、予測は行いませんでした。

### 5.5.4 環境保全措置

調査の結果、事業実施区域及びその周辺において重要な地形及び地質が確認されなかったことから、環境保全措置の検討は行いませんでした。

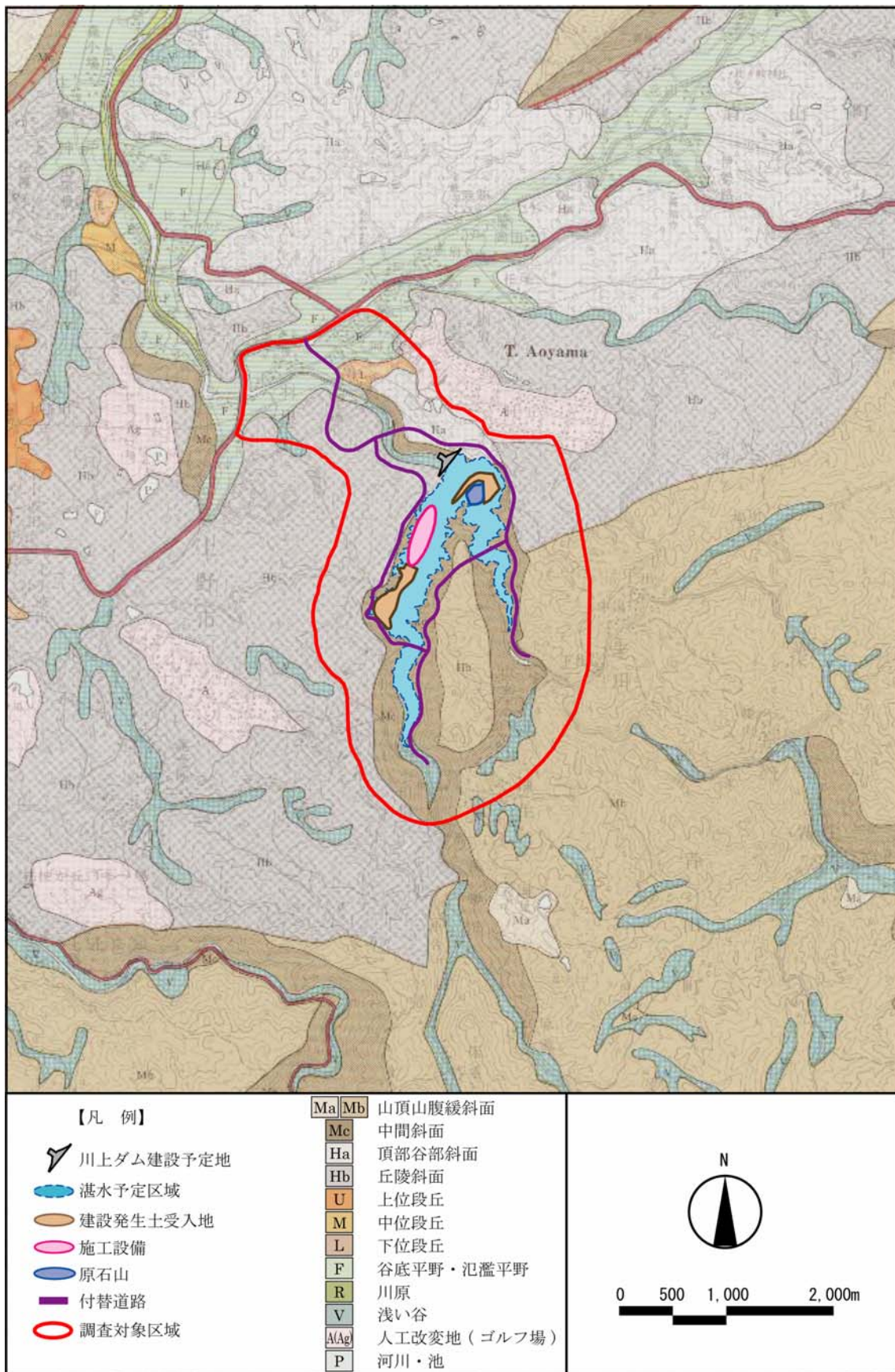


図 5.5-1 地形分類図

『この地図は、国土調査による5万分の1土地分類基本調査（地形分類図）水口・上野・名張（平成9年）を使用し独立行政法人水資源機構川上ダム建設所が作成したものです。』

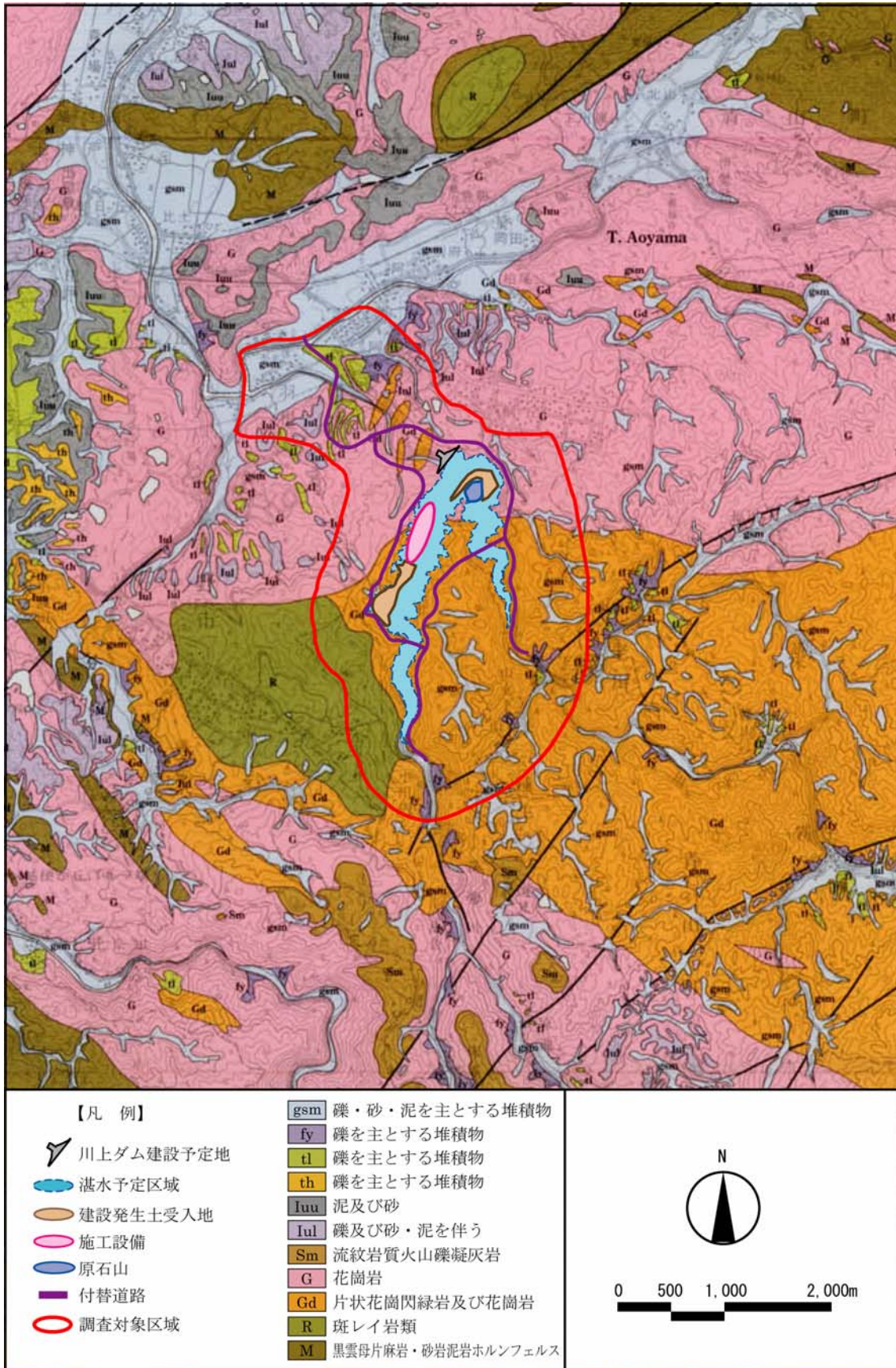


図 5.5-2 表層地質図

『この地図は、国土調査による5万分の1土地分類基本調査（表層地質図）水口・上野・名張（平成9年）を使用し独立行政法人水資源機構川上ダム建設所が作成したものです。』